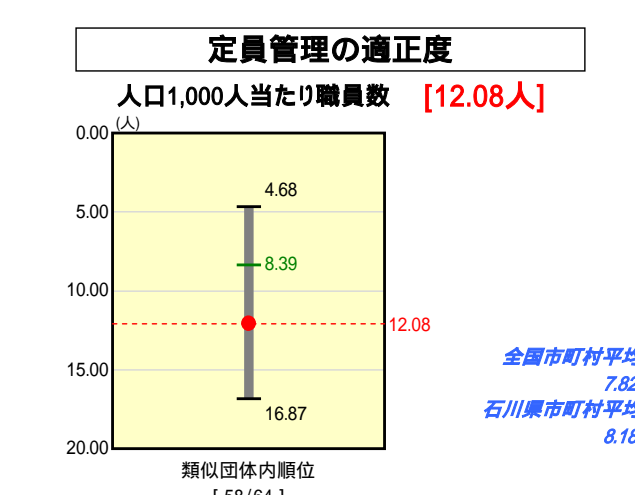
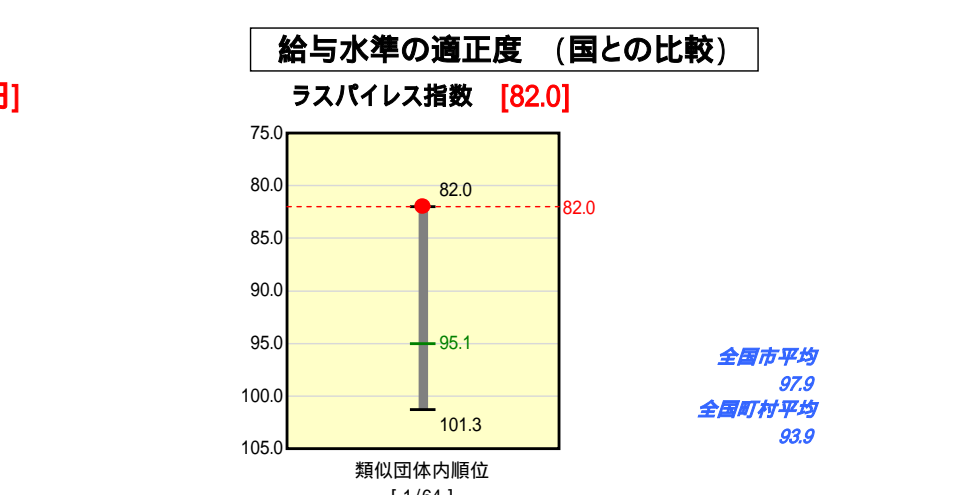
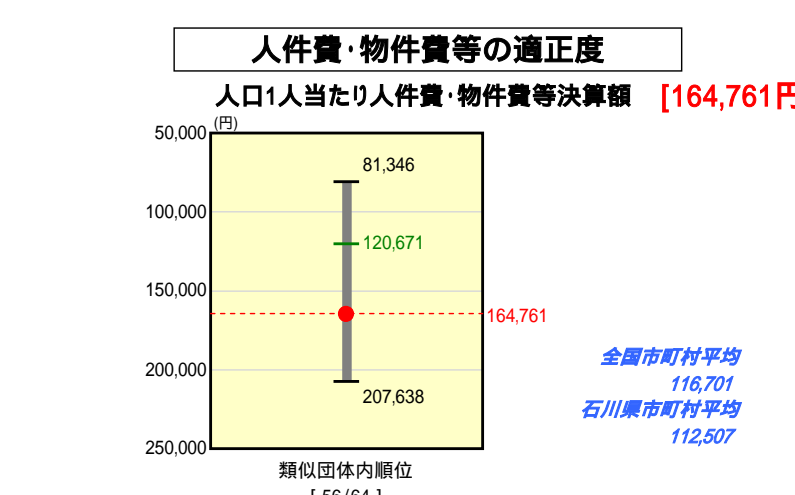
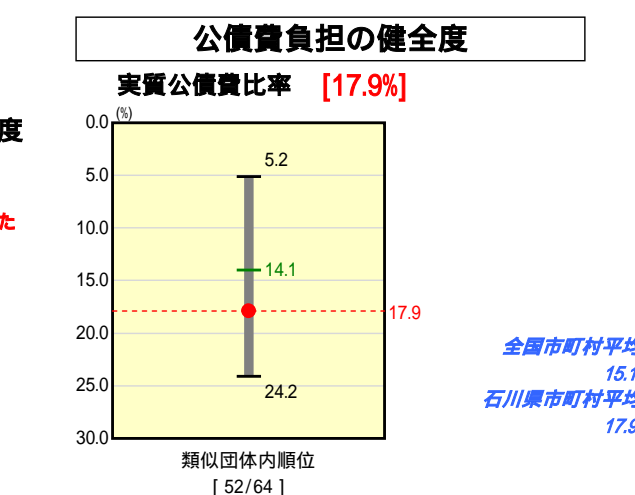
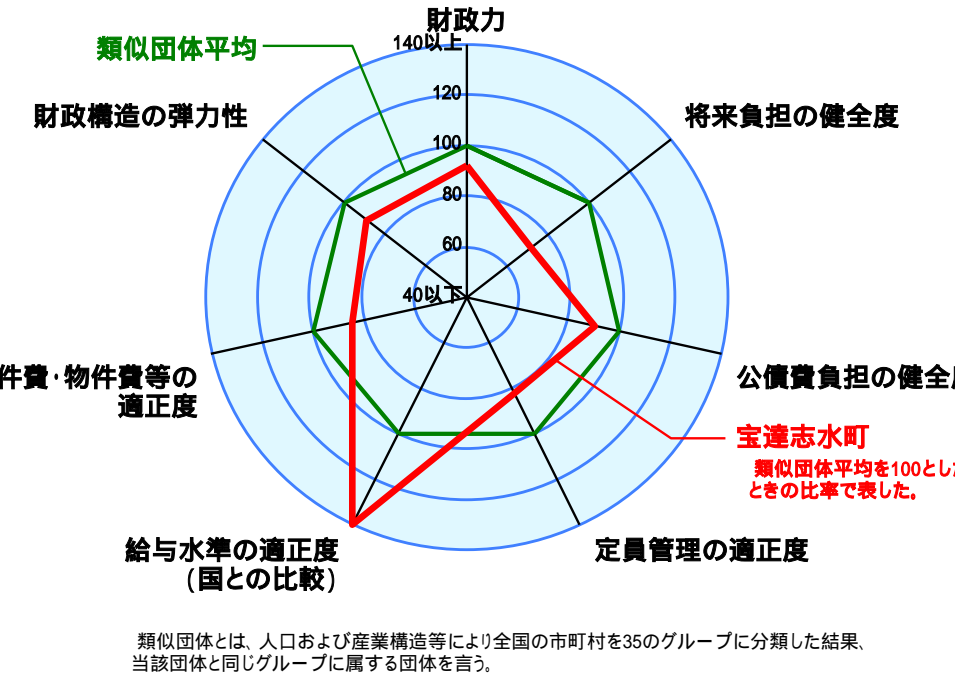
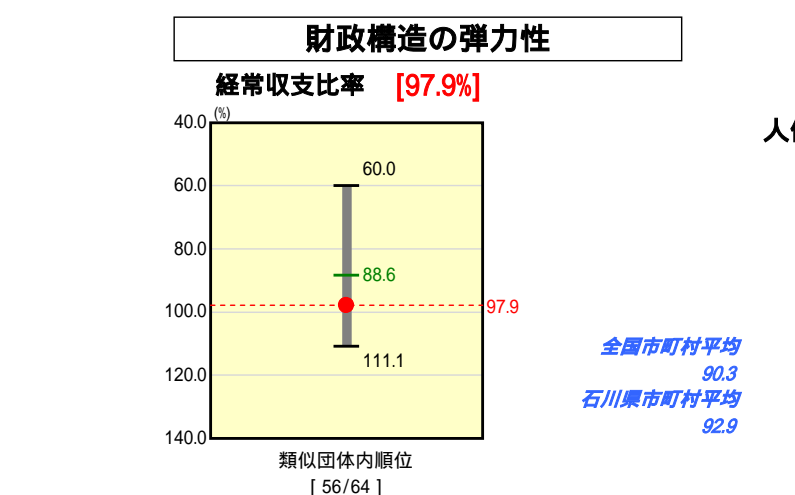
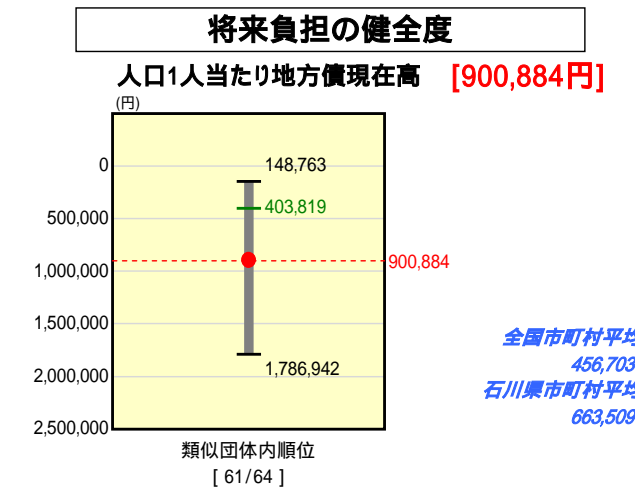
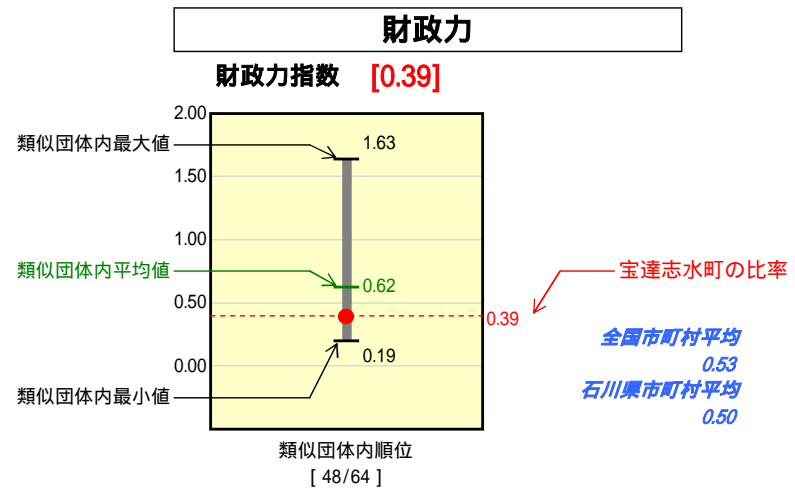


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 宝達志水町

人口	15,649人	(H19.3.31現在)
面積	111.68	km ²
歳入総額	8,576,573	千円
歳出総額	8,457,361	千円
実質収支	71,528	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数： 財政基盤の弱い本町にあっては、類似団体を下回っているが、合併により財政基盤強化が図られたところである。人件費の削減など歳出の見直しを図り、また税収の徴収率の向上に努める。

経常収支比率： 扶助費及び公債費、一部事務組合への分担金増による補助費等の増加により97.9%と類似団体平均を上回っている。今後は人件費の削減、経常経費の削減など歳出全般の見直しを図り、経常比率の改善を図る。

ラスパイレズ指数： 類似団体の中では最低水準にあるが、今後も給与の適正化に努める。

実質公債費比率： 類似団体を上回っており、今後も大型事業の償還により公債費が上昇するため、今後は大型事業の取捨選択を図り、地方債発行の大幅な抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高： 類似団体平均と比較して町債残高は合併特例債等の大型事業により増加し、大きく上回っている。今後は、新規地方債の発行額を償還額以内とするなど抑制に努め、残高の縮減を図る。

人口1,000人当たりの職員数： 合併に伴い類似団体平均を上回っているが、今後は退職補充を最小限に抑え、23年度までに22人の削減を行う。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額： 類似団体平均に比べて高くなっているのは、主に物件費が要因となっている。合併により一時的に経費が増加したものがあがるが、これは主に施設の数が増加したものであり、公共施設等の統廃合を積極的に進め、施設維持管理費の縮減を図り、また、指定管理者制度の導入などを進め、経費の低減に努める。